

保 健 室 から こ ん に ち は



みんなあ高知で
頑張りゆうぜよ!



高知大学は、朝倉・岡豊（医学部）・物部（農学部）の3キャンパスからなり、学生約5500名が学んでいます。保健管理センターのスタッフは、朝倉キャンパスは、内科医師、精神科医師、看護師、事務職各1名。岡豊キャンパスは、精神科医師、看護師各1名。物部キャンパスは、看護師2名（午前午後各1名）で対応しています。高知の夏は太陽がさんさんとふりそそぎ、県外からの学生さんは海水浴にいくと日焼けを通りこしてやけど状態になる方もいます。また、よさこい踊りは大学内でも盛んで、いくつものチームが結成されています。夏は高知のお城下で踊りまくって完全燃焼します。冬には名物イベントの『室戸貫歩』があり、高知市朝倉から室戸岬までの約90kmを、夜を徹して歩くという過酷なレースです。毎年学生、教職員、OB、他大学の学生、一般の方など約600名が参加します。

では、各キャンパスの紹介をしていきます。

朝倉キャンパス

高知市街より、西に位置し住宅地に囲まれています。保健管理センターはキャンパスの北東にあり、独立した建物になっています。築30年近い大変古い建物です。昨年度末、外装とトイレ回りを改修し一部きれいになりました。身障者用トイレも増設しました。来年、再来年度をめどに残りの改修工事に入る予定です。改修後のきれいなセンターを御紹介したかったです。



エントランス

改修工事をして、開放的できれいになりました。玄関には広いスロープもついて、救急患者の搬送も楽になっています。健診時の荷物の積み下ろしも容易になりました。入ってすぐのエントランス

には、担架・AED・リーフレット類がおいてあります。床のタイルの緑の右半分が未改修です。

自転車用カーポートもつきました。



トイレ・検査室

改装してきれいになりました。倉庫をつぶして身障者用トイレを増設しました。設計上、男子トイレからの検尿の小窓がとれなかった為、男子の検尿は身障者トイレの小窓で対応しています。



休養室・診察室

1階の診察室の隣に休養室がありベッドが2床あります。2階の和室でも1組布団があり、休めるようになっています。



休憩室

マンガがたくさん置いてあり、授業の合間利用する学生さんがいます。この部屋は、骨密度測定や特殊健診時にも使用します。看護分科会 HP の他大学さんのを参考にさせていただいて、もっと温かみのある癒しの空間になればと思っています。



計測室

2階に上がってすぐの部屋です。

血圧計・視力計・背筋計・握力計・体脂肪計・体組成計があります。体組成計『インボディ』は筋肉量や筋肉バランスの比較ができるので、体育会系の学生さんに人気です。近々には、エアロバイクを購入する予定です。



カウンセリングルーム

外部より週2回（午後）臨床心理士の先生を願っています。その時に使用する部屋です。箱庭の品も揃っています。2階の一番奥の静かな部屋になっています。

向かいの会議室では、月1回学生のグループワークが開かれています。

ねこ

保健センターの回りには、ネコがたくさんいます。（大学内にもたくさん）飼い主さん、責任もって飼って下さいね。

この前、水路ですぶ濡れのネコをスタッフが助け、スタッフの家族の一員になりました。野良ネコから昇格です。



暖かい家族ができて
幸せだニャン♥

岡豊キャンパス

平成5年の高知医科大学時代に学生相談を中心に行うことを目的に、精神科医の渋谷恵子先生と地域の保健師の隅田が就任し、現在に至っています。

18年も経ちました。

最初は、医学科の学生だけで少々堅苦しい環境でしたが、平成10年からは看護学科が増設され女子がどっと増て賑やかになりました。

その後高知大学との合併もありました。

キャンパスが離れている為、日常的に本学との交流があるわけではないのですが、やはり合併後は組織が大きくなり、人事交流もあって、閉塞感は薄れた感じがします。

ただ、日常の業務は本学とは別で、ここならではのものです。

医学部の学生の健康管理の特徴は、医師や看護師になることが決まっている為、出来るだろうかと悩みだした時の苦難と、試験や実習を乗り越えることに対応することではないかと考えます。

また、ここ数年管理が厳しくなった感染症については、附属病院や、実習先の病院への配慮が欠かせません。

右側の3階建ての管理棟1階に
保健管理センター医学部分室があります。
今年は、急激な寒さで記念樹の紅葉が
ことさら美しかったです。



20年近い歳月を振り返ってみると、学生も教職員も変化がありました。

おそらく時代が変化しているせいでしょうが以前と比べると、出席や成績の管理が強くなり、窮屈になってきました。

保健管理センターを利用せざるをえない学生さんにとっては、少々つらいことです。

立ち止まっている学生さんも、少しひいたところで温かく厳しく見守ってくれると、自立してゆくと
思うのですが、そういった環境が得られにくくなってきました。

職員の環境も変わりました。私が移ってきた平成5年頃は5時になると事務棟内で、宴会が始ったりして驚きましたがいつの間にかそんな物音もしなくなりました。

見知った職員の方が、休職したり、途中で辞めていたりしています。

過去を懐かしんで悲観ばかりしても意味のないことですが、せめてあの空気を味わったものとして、
心の中に大らかさを残してこれからも、迷える学生さんたちに接していきたいと思う今日この頃です。

(文責 隅田)

物部キャンパス



物部キャンパスマップ

高知大学物部キャンパスは、高知空港から徒歩15分、JR高知駅から車で東へ30分の所に位置しています。南に太平洋を望み、東に物部川が流れ、田園に囲まれたのびのびとした環境の下、農学部の学生が大学生活を楽しんでいます。

保健相談室の概要

保健相談室は日章会館の2Fにあります。

1Fに学生食堂があり、2Fの学生フロアに面した所に保健相談室の入口があるため、とても利用しやすい場所です。

内科医師、精神科医師による診察がそれぞれ月2回、臨床心理士によるカウンセリングが週1回実施されています。また、常時看護師2名が交替(午前、午後)で勤務しています。



ここは、保健相談室の一角に作られた休憩コーナーです。狭いスペースながら学生が自由に出入りをして、時間を過ごしています。ほっとできる《居場所》作りを目指しています。学生が残していったくれた研究材料のひかりメダカも元気に育っています。

昨年夏には20匹ふ化しました。見ているだけで心が和みます。



保健相談室のある建物は、現在改修工事が行われています。来年にはきれいな建物に生まれ変わる予定です。
(物部キャンパス 木田・岡田)